

社会福祉協議会 だより

心配ごと、悩みごとの
ご相談はご遠慮なくどうぞ
町内35-1270

開設します！無料法律相談

法律事務所の弁護士による「無料法律相談所」を開きます。遺産相続、離婚、財産、多重債務など、法律に関するご相談をお受けいたします。

相談についての秘密は固く守られ、相談は無料です。

▼日時 11月27日㊈ 13時～16時

▼場所 荘北町新ふれあい館（莊北町社会福祉協議会）

▼相談料 無料

▼相談担当弁護士 「天草ひだまり総合法律事務所」

※相談は、事前の予約が必要になります。

※相談を希望される人は、11月22日㊉までに莊北町社会福祉協議会へお予約ください。

※相談時間には制限（1件 約30分）がありますので、相談申し込みが多数の場合は、一部の相談をお断りすることがあります。

詳細は、莊北町社会福祉協議会へお問い合わせください。

【無料法律相談に係る費用は、社会福祉議会が負担しています】

ご協力ありがとうございました

特別会費（賛助会費）をご協力いただきました事業所、商店、老人クラブの皆さまを広報れいほく8月号及び9月号でお知らせしましたが、掲載後に追加でご協力いただきましたのでご紹介します（敬称略）。

▼町内老人クラブ

【志岐地区】

健進会（内田老人クラブ）

※社会福祉協議会会費については、ボランティア活動、社会を明るくする運動、心配ごと相談所開設、ひとり親家庭行事、広報紙発行などに活用させていただきます。

生活困窮者自立支援制度のお知らせ

莊北町社会福祉協議会では、生活困窮者自立支援制度（自立相談支援事業）の相談窓口を開設しております。

健康面、生活面、経済面など、どのような内容でもお気軽にご相談ください。

相談員が、様々なご相談に対応できる機関団体などと連携し、皆さまの地域生活のお手伝いをします。

来所でのご相談の他に、電話でのご相談やご自宅などへの訪問相談も行いますので、お気軽に莊北町社会福祉協議会へお問い合わせください。

<主な支援内容>

○就労準備支援事業

⇒就労への第一歩です

「社会との関わりに不安がある」、「周囲の人とのコミュニケーションがうまくとれない」など、すぐに働くことが心配な方に、就労に向けた訓練や就労の機会を提供します。

○家計相談支援事業

⇒家計の立て直しについてアドバイスします

家計状況の課題を整理し、自ら家計を管理していくように、状況に応じた支援計画の作成や貸付の斡旋等を行います。

○子どもの学習援助事業

⇒子どもの明るい未来をサポート

子どもの学習支援や居場所づくり、進学、高校の中退防止等について、子どもとその保護者に必要な支援を行います。

○一時生活支援事業

⇒宿泊場所や食事等の提供

決まった住居のない方に、一定期間の宿泊場所と食事等を提供しながら、自立した生活に向けた支援を行います。

○住居確保給付金

⇒家賃相当額を支給

離職などにより住居を失った方、または失うおそれの高い方に、就職に向けた活動を行うこと等を条件として、一定の期間、家賃相当額を支給します。



J Aの視察研修旅行にて

莊北町志岐（城下区）にて、錦戸家の一人娘として生まれる。幼い頃は家族にとって待望の子供であり、また、一人っ子ということもありみんなから可愛いがられた。

志岐小および高等科2年を経た後、熊本市内の女子高校へと進学をし、高校卒業後は莊北に戻る。その後は、本渡の編み物教室に2年間ほど通っていた。

それから2年ほどして、のちに夫となる忠幸さんとお見合い出会い、結婚後は忠幸さんを錦戸家の婿養子として迎える。

忠幸さんは学校の教員をしており、二江・河浦・天草町下田などに転勤があり、ハツメさんもいわゆる転勤族として各地を異動することとなる。その中で、4人の子宝（娘3人、息子1人）に恵まれ、専業主婦として子育てに追われる忙しい日々を過ごした。

夫の転勤で莊北へと戻ってきた後は、主婦だけでなく、農業をしたりJ Aの野菜集荷所に勤めながらの子育てで、4人の子供を育てるのは本当に大変であった。

そして、忠幸さんが教員としての定年を迎える。これまで、転勤が多く忙しい日々であったこともあり、今後はのんびりと農業をすることを楽しみにしていた。

それからわずか3年後、忠幸さんは病に倒れ、帰らぬ人となった。。ハツメさんにとっても、夫婦としての時間をこれからと思っていた矢先のことであった。

悲しみの中ではあったが、ハツメさんはその後も野菜集荷所に勤める。30年間ほど仕事に携わる中で、視察研修旅行で各地を多く回った。

「私がこれまでに視察研修旅行で経験したことや農業の魅力について若いにも知ってもらうため、今後も伝えたい」と

そう話された、笑顔のハツメさんは輝いて見えた。



農業風景

莊北町で、元気に生き生きと暮らしていらっしゃる『たっしゃかもん』を紹介します。

輝いています! たっしゃかもん

No.222

農業の魅力
これからも伝え続けます！

にしきど 錦戸 ハツメさん

（昭和8年2月17日生まれ）満86歳 城下区在住

問 好きな食べものは？

好き嫌いがあまりなく何でも食べます。好きな物は甘いもので、果物やケーキが好きです。

問 好きな男性のタイプは？

好きな人は優しい人です。芸能人で言うと、歌手の五木ひろさんの優しい笑顔が良いですね。

問 もし生まれ変わったら？

とにかく旅行が好きで、京都に孫がいますし、また日本中をいろいろと巡ってみたいですね。

問 私の趣味

花とか野菜作りです。今でも自分で食べる分だけは作っています。ホウレン草・白菜や大根など、あとは、お米も作ります。

問 思い出

旅行で北海道・京都・神奈川・東京・横浜などの観光めぐりが楽しかったです。

その他にもJ Aの視察研修旅行によく行っていました。

問 若い世代へ伝えたいこと

これまで何でもしてきたけど、旅行でいろいろと経験した楽しかったこと・その魅力を若い人に伝えたいです。

問 町へのメッセージ

町の方からはいろいろといただきました。基盤整備や家の周りの道路をきれいにしていただき助かりました。そして、麟泉の湯を作っていただいたことが一番良かったです。

問 私の健康法

前の日からコップを準備をしておいて、毎朝起きてからコップ一杯の水を飲むことです。それと、夕方に犬を散歩に連れていくことですね。